



北部っ子だより

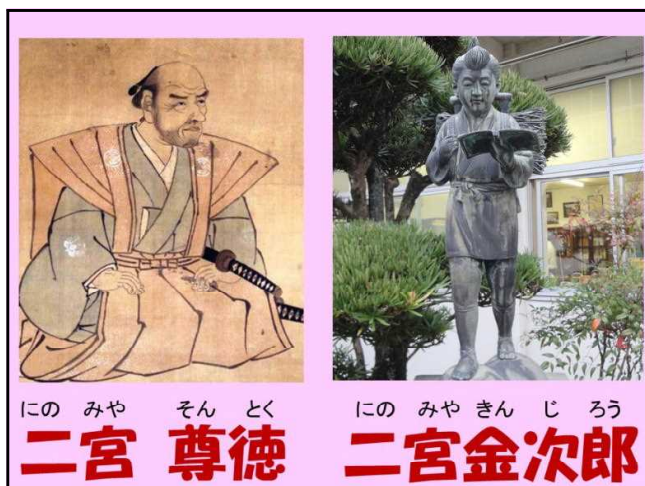
豊田北部小学校だより 第8号平成29年12月6日発行 文責 教頭



12月全校の集い 校長のお話

今日から十二月。十二月のことを「師走」とも言います。師（先生）が挨拶回りなどで、走り回らなくてはならないほど忙しい時期なので師走と言われていています。みなさんも、いろいろなまとめをする大切な時期ですね。今日最初のお話は、持久走大会についてです。開会式では、みなさんが自分の目標をもち、目標に向かって最後まで諦めず走り抜いてほしいと話しました。大会では、みなさん一人一人のがんばりがとても素晴らしく、きらきら輝いてまぶしいほどでした。残念ながら見学や欠席した子は、来年は参加できるように、健康管理に気をつけたいですね。

次のお話です。この写真の人を見たことがありますか。左は「二宮尊徳」というお侍さんです。右側の人は、そう、校長室の外に立っている「二宮金次郎」の銅像です。二宮金次郎は二宮尊徳の子供の頃の名前なのです。金次郎は大人になってから、人々のために力を尽くし、多くの人から尊敬されました。また、金次郎は小さい頃から薪を背負って働きながら勉強に励みました。金次郎の銅像が、どうしてたくさんの学校に建てられたか分かりますね。金次郎のよ



にのみや そんとく
二宮 尊徳

にのみや きんじろう
二宮金次郎

うに立派になってほしいという願いからです。みなさん、金次郎の足をよく見てください。片足を少し前に踏み出しています。これは「小さな一歩を踏み出し、自分にとって大切だと思うこと

自分のこと
だけではなく
↓
人のために
何ができるか

を貫け」と私たちに教えているのです。みなさんも、大地にゆっくりと根を張り、台風が来ても日照りが続いても、堂々とそびえ立つ木のように、たくましく育ててください。そして、自分のことだけ考えるのではなく、金次郎のように、まわりの人のことを考えられる人になってください。人間として最大の目標は「人のために何かできる人になること」だと私は考えています。皆さんも、金次郎の姿を見て考えてみましょう。

12月16日(土)
第3回PTA資源回収

12月16日(土)、本年度最後の資源回収があります。(予備日は翌日)豊田北部小の教育活動をより充実させるため、皆様の御理解と御協力をお願いします。

